

15グループ

講演をうけての感想	苫小牧市の現状はどうか	孤立を防ぐために現在実践していること	孤立を防ぐための課題は何か	課題を解決していくための方策	「やさしい街づくり」のため自分では何が出来るのか
<ul style="list-style-type: none"> ・ 質問に複数で、行くことになり、質問時の配慮必要 (DVDを見て) ・ オートロックが壊れ、迷わられることも多い ・ 民生委員 広範囲だと会えない、特に訪問しても会えないケースがある ・ 訪問方法の工夫 ・ 役に立ちたいという思い → どうやって引き出すかがむずかしい ・ 身内がいなくて、子供とのつながりもない、ソフトが弱くなっている。 ・ 顔見知りになる。 ・ 子供の楽しかったこと、過去の出来ごとのフォロー → 心が開きやすくなる ・ 個人情報(果物の問題) 	<p>地域の会合</p> <p>民生委員の高卒化。 一人が2~300件もっている。</p> <p>398名 民生・児童委員がいる。</p> <p>求援医療情報キットなど やるならしつかりやっしてほしい</p> <p>見守り事業をしつかりやっしてほしい</p> <p>匿名で情報システムがふもあ、メールで集めている人がいる</p> <p>住所変更せずに知らない間にアパートで生活している人が引越してきて気がつかない</p>	<p>地域の会合に出てこない方への安否確認も含めた訪問。</p> <p>民生-老人クラブ、町内会の方からの情報。</p>	<p>福祉行政がきびしくなっている でも必要の方はどんどん増えている</p> <p>→ 独居、障がい、高齢者などどき位いるか把握しきれない 調査項目がこまかくてわからない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ (個人情報の保つ) ・ 地域 地域でのネットワーク (区長単位) ・ 情報の共有 <p>市などへの発信、民生委員などの「タカ」市民の関心をもちたい</p> <p>民生、介護事業所のネットワークが衰えじょうぶに連携</p> <p>多職種連携が大規模、一人のトを見るはずが多職種連携 多職種 その中の情報共有、お互いの「行っていること」支援方法が見えない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 見守りの目 ・ 無料だと「いらぬ」と思われる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多職種の連携が重要。 ・ 老人会に民生委員を参加し(情報共有) <p>目</p> <p>「目をつけてやる」「めんどろをみる」という関係ではなく、顔見知り、信頼関係、上からの関係 ×</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 笑顔であいさつ <p>「役割、楽しみをもって生活して頂きたいか」高える</p> <p>無条件でいい</p>